

留萌市第1回市民検討会議
議事概要

日時：令和7年5月30日（金）15:00～16:00
場所：留萌市役所 3、4号会議室

出席者 委 員	藤野委員（座長）、橋本委員、前田委員、上田委員、炭谷委員、村上委員 坂本委員、畑中委員、小川委員、佐藤委員、谷委員、伊端委員、矢作委員 志田委員、菖蒲委員、山本委員 ※順不同
欠席委員 オブザーバー	笠井委員（副座長） 留萌市 渡辺総務部長、海野地域振興部長、大和都市環境部長 吉田教育部長、林政策調整課長、竹内経済観光課長、安田建築住宅課長 百瀬生涯学習課長
事務局 運営支援	留萌市都市環境部複合施設推進室：大塚室長、成田主査、遠藤主査 ㈱ドーコン 佐竹、藤井、石田

開 会

事務局 大塚室長開会挨拶

1. 委嘱状交付

市長より17名に委嘱状を交付する。

2. 市長挨拶

- ・17名の委員の皆さまから、新交流施設について忌憚のない意見をいただきたい。
- ・市のランドマーク的な施設になると捉えており、市からも若い職員を委員に加えさせていただいた。
- ・若い人たちからも意見をいただきながら、責任をもって施設を造り上げていきたい。
- ・それぞれの委員の知見をいただきながら、回数を重ねていいものにしていきたい。

3. 座長選任、副座長選任

事務局

- ・座長について立候補を希望される方はいるか。（希望なし）

委員

- ・事務局案があれば教えてほしい。

事務局

- ・藤野委員を座長とすることでいかがか。

一同

- ・異議なし。

事務局

- ・それでは、藤野委員に当会議の座長をお願いする。
- ・副座長は委員の中から座長が任命することとなっている。藤野座長のご意見を伺いたい。

座長

- ・笠井委員にお願いしたい。

事務局

- ・皆様よろしいか。

一同

- ・異議なし。

事務局

- ・今後の進行は藤野座長をお願いする。

座長

- ・会議を進めるにあたって、申し合わせをさせていただく。
（以下、資料「申し合わせ事項」を用いながらの説明）
- ・本検討会議は施設整備を前提としたものなので、議論はその範疇にすることとし、以下を念頭に置い

ていただきたい。

- ① 偏った協議は行わないこと。
- ② 感情的な議論は行わないこと。
- ③ 未来志向の議論を行うこと。

4. 議事

(1) 留萌市新交流複合施設整備検討会議の目的

事務局より資料「検討会議設置要綱」を用いて説明を行った。

座長

- ・質問はあるか。

一同

- ・なし。

(2) 留萌市新交流複合施設基本構想ダイジェストについて（資料1）

事務局より「資料1：留萌市新交流複合施設基本構想ダイジェスト」の説明を行った。

座長

- ・質問及び意見はあるか。

一同

- ・なし。

(3) 留萌市新交流複合施設整備基本計画市民検討会議の進め方について

事務局より「資料2：留萌市新交流複合施設整備基本計画市民検討会議の進め方について」の説明を行った。

座長

- ・質問はあるか。

委員

- ・計画を年度末に策定する場合、会議を月1回行ったとして計5、6回の開催となるとの説明があった。
- ・これだけの内容を議論するには期間が非常に短いと感じている。期間を延ばすなどの別の考えはあるか。

事務局

- ・事業スケジュールは事務局の案であり、この会議で議論をしつくすことが大事であるとする。
- ・策定期間を延長するのか、もしくは会議の回数を増やすのかなど皆さんと考えていきたい。

委員

- ・むやみに議論を長くしてもいつまでも結論がまとまらないというのもあり、さらにこれだけの人数の日程を合わせることも難しい。
- ・また、計画期間の延長が妥当とは判断できかねる。
- ・進め方については、皆さんの確認を取りつつ、座長と副座長、事務局の三者で決めていただきたい。
- ・本会議では専門的な内容を議論する必要がある。
- ・これは提案だが、専門部会あるいは計画部会を作り、部会ごとに討議した内容を本会議にかけける形で進めるのはいかがか
- ・この施設は留萌にとって重要なものであり、思いつきの議論とならないように進めていきたい。

座長

- ・賛同する。
- ・人選については私に任せていただき、専門部会で議論を行った後に本会議で中身の濃い議論ができるような段取りを組みたい。異議はないか。

一同

- ・異議なし。

座長

- ・では、そのように進めていく。

委員

- ・基本構想は市役所が策定したものと認識しており、市民意見を把握したものではない。
- ・本件について市民はあまり自分ごととして捉えていないと感じる。市民に対して、基本構想を説明する機会を設けてはどうか。
- ・個人的にはＪＲ跡地の利用には異議はなく、市役所の移転についてもやむなしと考えているが、本当にあの場所で良いのかという疑問を持つ人もいるのではと考える。多様な意見を聞き、エビデンスに基づいて進めたうえで、丁寧に説明していく必要があるのではないか。
- ・近い将来モンベルができるが、あまり拙速にならずにモンベルの設置を待つ様子を見た方がよいのではないか。というのも留萌市の公共施設は分散しており、コンパクトとは言いにくい。
- ・駅跡地がまちの中心と思っていない市民もいるため、しっかりと説明できる状態にする必要がある。
- ・財源についても多くの市民が関心を持っている。市立病院も赤字であり、優先順位等についても説明が必要である。以上のことを市民にしっかりと説明できるような議論にしてほしい。

事務局

- ・市民には基本構想のエッセンスをまとめたニュースレターのような形で公表したいと考えている。基本計画については、パブリックコメントで意見を募る形を想定している。

委員

- ・パブリックコメントは意見がほとんど無い場合が多い。
場合によってはこちらから市民に飛び込んでいく必要があるのではないか。

座長

- ・手法については、事務局で今後検討する。

委員

- ・市議会との情報共有はどのように進めるのか。

事務局

- ・公共施設整備調査研究会という会議体があり、５月１４日に議会機能についての検討を行ってほしいとのことを申し入れしている。
- ・８月を目途に議会側から回答が示される予定である。全体の議論については議会と都度日程調整を行いながら、情報共有を進めていきたいと考えている。

委員

- ・議会の意見について、最終の決議を行うのはこの場であるという理解でよいのか。

事務局

- ・本会議の意見を議会に伝えながら進めるが、議会の意見を本会議にフィードバックする想定はしていなかった。基本計画は、検討会議、議会、事務局の意見を取り入れたものとする理解している。その点については皆さんの意見を聞きながら今後進め方を考えていきたい。

座長

- ・議会の独立性も担保しつつ、議会の検討結果もふまえて当会議で議論すべきと考える。
- ・検討の節目で議会側の考えを差し込み、合わせて進める形としたい。

事務局

- ・議会側とも調整して進める。

委員

- ・基本構想では施設規模の目途が示されているが、この根拠は何か。
将来の人口減少を見込んで算出したものなのか。

事務局

- ・資料１の７ページをご覧いただきたい。
①については、国交省の基準に昨年４月１日時点の職員数を乗じて算出したもの、②は道内他自治体事例から算出したもの、③は現庁舎の延べ床面積の合計、④は労働安全衛生法による面積である。
そのため、最低面積は現時点の職員数を基準にしているが、人口減少については課題として将来人口推計等を掲載した。これらを踏まえ、具体的な施設規模については、今後議論を深めていきたい。

座長

- ・委員の意見は、基本計画の内容の前提条件の整理の部分に該当し、次回の議題になるものとする。

委員

- ・その点は本検討会議の議題には入っていないのではないか。

事務局

- ・前提条件の整理はすでに行っている。整理した課題に対して、適切な導入機能や規模等を本検討会議で議論する。

委員

- ・8, 000 m²以下にすることも今後の意見によりあり得るということか。

事務局

- ・そのとおりである。

委員

- ・このような質問は非常に重要である。事前にメール等で質問を募ってはどうか。

事務局

- ・対応する。また、事前に欲しいデータや資料について言っていただければ用意を行う。
- ・次回は前提条件をふまえて、課題や敷地等について論点整理を行うイメージで進めたい。

5. その他

事務局

- ・次回は前提条件の整理結果を共有させていただいたうえで、何を議論するかをまとめたい。
- ・次回会議は、6月19日 15時からを予定しているが、この会議を部会にするか全体会議とするかは、検討させていただきたい。

座長

- ・部会については別途設定し、人選については後日私から個別に打診させていただく。

閉 会

以 上